

第4回 山陰近畿自動車道 浜坂道路Ⅱ期計画検討懇話会

日 時：平成28年11月10日（木）10：00～12：00

場 所：兵庫県新温泉庁舎 4F 大会議室

次 第

1 開会

2 座長挨拶

3 議 事

(1) これまでの実施内容

(2) 浜坂道路Ⅱ期ルート帯について

①ルート帯についての意見募集の結果報告

②主な意見とそれに対する県、町の考え方

(3) 質疑応答

(4) ルート帯に対する懇話会意見とりまとめ

4 今後の進め方

5 閉会

第4回 山陰近畿自動車道 浜坂道路Ⅱ期計画検討懇話会 出席者名簿
【出席者名簿】

委 員 (()書き重複)	出欠	
新温泉町自治連合会長 (座長)	○	
新温泉町自治連合副会長	○	
新温泉町商工会長	○	
浜坂漁業協同組合長	○	
新温泉町婦人会長	○	
美方郡 新温泉町副町長	○	
新温泉町浜坂自治区長	×	欠席
新温泉町大庭区区長協議会長	○	
新温泉町戸田区長	○	
新温泉町三谷区長	○	
新温泉町若松町区長	×	欠席
新温泉町栃谷区長	—	
新温泉町七釜区長	代	
新温泉町西浜財産区管理会長	○	
新温泉町諸寄財産区管理協議会長	代	
新温泉町居組区有財産管理協議会長	—	
浜坂観光協会会長	○	
湯村温泉観光協会会長	○	
兵庫県 新温泉土木事務所長	○	

事 務 局	出欠	
新温泉町 建設課長	○	
新温泉町 建設課 課長補佐兼管理係長	○	
兵庫県 新温泉土木事務所 所長補佐兼浜坂道路第1課長	○	

山陰近畿自動車道 浜坂道路Ⅱ期計画検討懇話会
【これまでの実施内容（第3回懇話会以降）】

第3回 浜坂道路Ⅱ期計画検討懇話会

1 日時

平成28年6月30日（木）10:00～12:00

2 議題・連絡事項等

アンケート調査結果報告、浜坂道路Ⅱ期ルート帯案の説明

3 内容（主な意見等）

- ・諸寄地区にICを設置することは出来ないか。
→道路はJR山陰本線の上空を高い位置で通るため、谷幅が狭い諸寄では構造的に設置は難しい。
- ・展望台が出来ないか。
→トンネルが主であり、設置は困難。
- ・香住では余部道路の開通で町中を通る車が減った。そういったことへの対策を。
→道の駅、空の駅の整備などを行っている。今後は町の振興のため、浜坂道路の活用を考えていく必要がある。

Ⅱ期ルート帯案に関する意見募集

1 実施期間

平成28年7月～8月

2 概要

- ・第3回懇話会で公表したⅡ期ルート帯案についての町民意見を募集。
- ・新温泉町全域を対象に実施。
- ・新温泉町内 5,150 戸および、町内事業所 67 箇所に配布。
→意見回答件数：【住民回答】 256 件（147 人）
【事業所回答】 22 件（8 事業所）

地域高規格道路 山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）

浜坂道路Ⅱ期(栃谷～居組)ルート帯についての意見募集

兵庫県新温泉土木事務所では山陰近畿自動車道の一部として、浜坂道路Ⅱ期（栃谷～居組）の事業化に向けた準備をしているところです。

この度、浜坂道路Ⅱ期(栃谷～居組)のルート帯案（裏面）をとりまとめ、平成 28 年 6 月 30 日に、地元区長等で構成する「浜坂道路Ⅱ期計画検討懇話会」にお示ししました。懇話会での主なやりとりは以下のとおりです。また、昨年 4 月にお伺いしたアンケート結果は以下のとおりとなっています。

つきましては、今後詳細なルートの検討を進めていくにあたり、下記要領にて地域のみなさまのご意見をお伺いいたします。恐れ入りますが、ご協力をお願いします。

- ・回答様式：別紙の回答用紙
- ・回答期限：平成 28 年 8 月 26 日（金）
- ・送付先：新温泉土木事務所（別添の封筒をご利用下さい）

【懇話会での主なやりとり】

○ルート帯に関すること

（質問）諸寄地区のどの辺を通るのか。もう少し具体的な場所は示せないのか。

（回答）概略検討段階であり、幅をもったルート帯案をお示ししています。

具体的なルートは設計が進んだ段階で提示させていただきます。

（質問）諸寄地区にハーフランプが良いので、IC を設置することはできないか。

（回答）道路は J R 山陰本線の上空を高い位置で通るため、谷幅が狭い諸寄では IC を設置することは構造的に難しいです。



（懇話会の様子）

○ルート帯以外に関すること

（質問）ジオパークロードなのだから展望台ができないか。

（回答）トンネルが主となっており、展望台の設置は困難です。

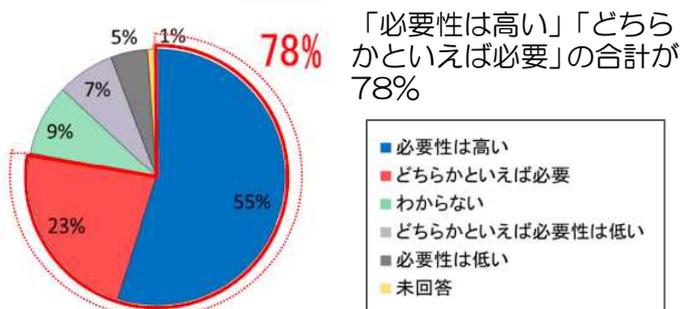
（意見）香住では、余部道路の開通に伴い、町中を通る車が減った。そういったことへの対策を行政でお願いしたい。

（回答）道の駅、空の駅などの施設を整備するなどの取り組みを行っています。

今後は町の振興のために、浜坂道路をどう活かすかを考えていく必要があります。

【浜坂道路Ⅱ期に関するアンケート調査結果（H27.4 実施）（抜粋）】

●浜坂道路Ⅱ期の必要性



●浜坂道路Ⅱ期に期待する効果

（上位 3 項目）

- ① 救急医療の際に役立つ
- ② 速く移動できる
- ③ 災害時の基軸道路として役立つ

問合せ先：新温泉町役場建設課 TEL 0796-82-3115

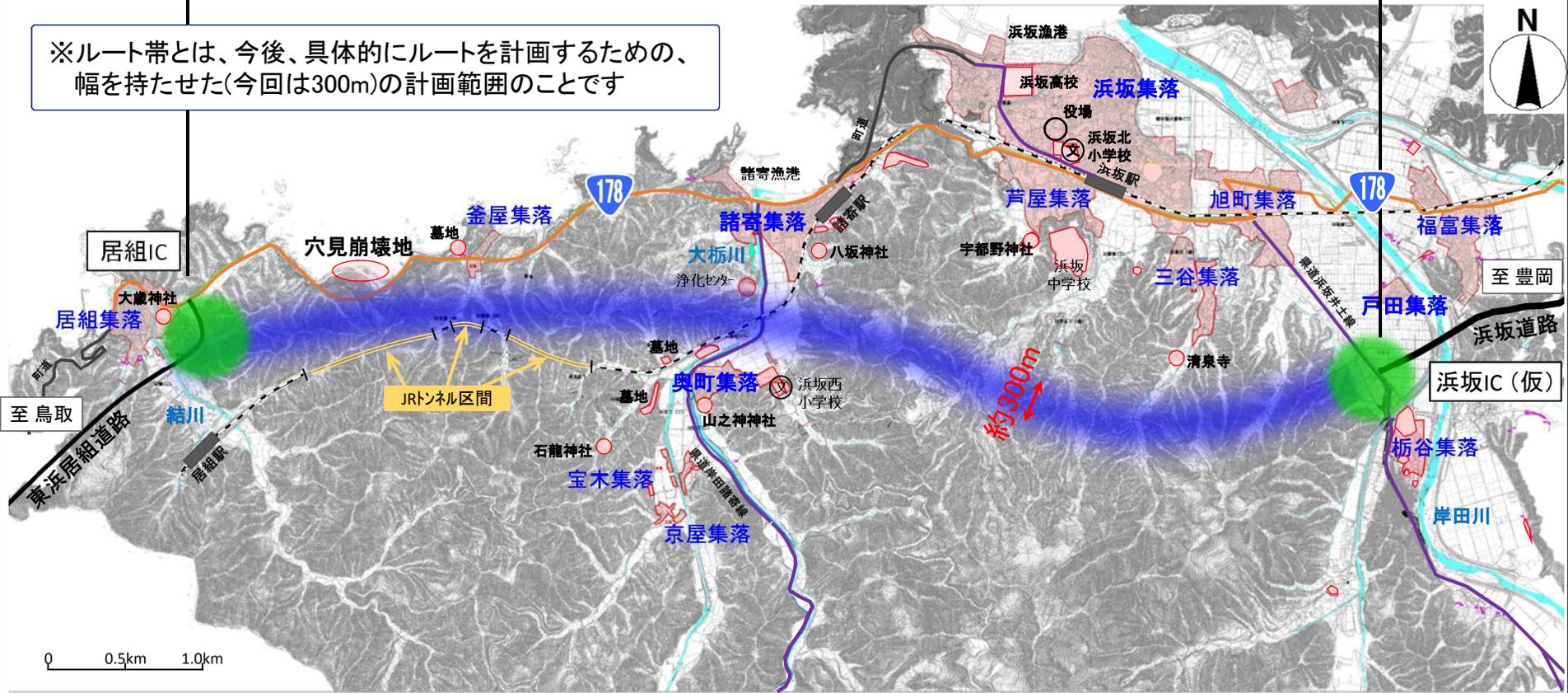
兵庫県新温泉土木事務所浜坂道路第 1 課 TEL 0796-82-5692

浜坂道路Ⅱ期(栃谷～居組) ルート帯案

資料2

浜坂道路Ⅱ期(栃谷～居組)

※ルート帯とは、今後、具体的にルートを計画するための、幅を持たせた(今回は300m)の計画範囲のことです



0 0.5km 1.0km



	集落等
	JR山陰本線
	河川・溪流

【ルート帯案の決定において、配慮した事項】
 ○集落・学校・神社・墓地等を回避し、到達時間短縮のため、最も延長が短くなる直線的なルートを選定
 ○JR山陰本線との交差はトンネル区間を避ける(JRトンネルが古く、影響を与える可能性があるため)
 ○穴見崩壊地付近については、地表面から約40～50m以深に堅固な岩盤が確認されたことから、トンネルの建設は可能

地域高規格道路 山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）

浜坂道路Ⅱ期(栃谷～居組)ルート帯についての意見募集

ルート帯案について、配慮すべき点、効果的な整備につながる提案など、ご意見がございましたら以下に記入して下さい。

またその他、「浜坂道路Ⅱ期」事業についてのご意見がございましたら、併せて記入をお願いします。

あなた自身のことについてお聞きします。

(回答2)、3)は以下の項目から該当するものに○を付けてください。

1) 住所	() 例：新温泉町居組 等
2) 性別	1. 男性 2. 女性
3) 年齢	1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代以上

ご協力ありがとうございました。本用紙は、大変お手数ですが別添の封筒に入れ、8月26日(金)迄にご投函下さい。

【これまでの実施内容（第3回懇話会まで）】（参考）

項目	議題・連絡事項等	内容（主な意見等）
<p>第1回 H26.8.26</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 懇話会の進め方 ・ II期事業への期待及び意見 	<ul style="list-style-type: none"> ・ II期は一日も早く開通し、西と東をつなげてもらいたい。 ・ 追い越し車線を多くつukれないか。 ・ 地理がわからないドライバーのために看板設置は工夫をして欲しい。 ・ 香住・余部道路では衰退した地域もあった。 ・ 道の駅等その他の施設も含めて町全体の構想を描く必要があるのではないか。 ・ この道路をどのように生かしていくのか、地域の皆様にも(地域発展のための)シナリオを考えていただきたい。
<p>第2回 H26.11.27</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルート帯検討に際しての配慮事項 ・ 意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆずり車線を設置して欲しい。 →トンネルが多いため困難。 ・ 浜坂 IC の形状→東側は本線北に交差点を設け、なだらかに ON・OFF ランプを設ける。II期も同様の形状となる。 ・ ビューポイントがあれば展望スペースやパーキングエリア等を造って欲しい。 ・ 道の駅について多くの意見が出されたが、別途検討委員会があるので、そちらで議論する。 ・ 高規格道路が開通すると、本町は通過交通だけでさびれていくのではないか。
<p>アンケート調査 H27.4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜坂道路 II 期の必要性和効果 ・ 事業に対する意見 〔 新温泉町 〕 〔 全戸配布 〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 →住民の 78%が必要と回答。 ・ 効果 →救急医療の向上、移動速度の短縮効果に対する期待が高い。
<p>第3回懇話会開催時期案内 (文書通知) H27.12.10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回懇話会の開催時期の延期 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路概略設計を進めるにあたり、穴見崩壊地の影響範囲を適切に評価することが必要となった。 ・ 地質調査実施と結果の分析に時間を要するため、第3回懇話会の開催時期を延期する。

浜坂道路Ⅱ期ルート帯についての意見募集結果

実施時期	対象地区	対象	回答方法	配布部数	回答数	回収率 ^{※2}
平成28年 7月～8月	新温泉町 全域	地域住民	郵送 回答	5,150	147	2.9%
		事業所 ^{※1}		67	8	11.9%

※1 従業員10名以上の事業所を対象とした。

※2 地域住民、事業所ともに回収率が低いのは、ご意見のある方のみ回答、としたため。

(参考)浜坂道路Ⅱ期に関するアンケート調査結果

実施時期	対象地区	対象	回答方法	配布部数	回答数	回収率
平成27年 4月	新温泉町 全域	地域住民	郵送 回答	5,215	1,250	24.0%
		事業所 ^{※3}		67	31	46.3%

※3 従業員10名以上の事業所を対象とした。

提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案件名：浜坂道路Ⅱ期（栃谷～居組）ルート帯についての意見募集

意見募集期間：平成28年7月末～平成28年8月26日

提出された意見数：【住民意見】256件（147人）、【事業所意見】22件（8事業所）（①現案どおり6件、②今後検討11件、③対応困難6件、④その他1件）

【提出意見 項目別集計表】

1 浜坂道路Ⅱ期ルート帯案に関する意見

項目	番号	意見内容	住民意見数		事業所意見数		考え方(対応)			
							現案どおり	今後検討	対応困難	その他
ルート帯	1	計画ルートで良い	18	36	1	4	○			
	2	直線ルート希望	7		-		○			
	3	別ルート意見	7		-				○	
	4	景色に配慮	4		3				○	
インターチェンジ (IC)	5	居組IC	8	22	-	-	○			
	6	中間IC不要	4		-		○			
	7	中間IC必要	10		-				○	
合計			58		4		4	-	3	-

2 浜坂道路Ⅱ期事業に関する意見

項目	番号	意見内容	住民意見数		事業所意見数		考え方(対応)			
							現案どおり	今後検討	対応困難	その他
計画	8	事業必要	20	91	3	7	○			
	9	事業不要	6		-		○			
	10	事業期間	50		3				○	
	11	事業コスト	3		-				○	
	12	環境対策	2		1				○	
	13	情報公開	10		-				○	
設計	14	安全対策	17	58	1	4		○		
	15	トンネル	11		2			○		
	16	展望・休憩施設	13		-					○
	17	追い越し車線	5		1					○
	18	道の駅へのアクセス	6		-					○
	19	浜坂IC(周辺)	5		-				○	
	20	その他	1		-					
工事	21	工事中の安全対策	7	10	-	-		○		
	22	工事中の環境対策	3		-			○		
合計			159		11		2	9	3	1

3 その他の意見（地域活性化に関する意見）

項目	番号	意見内容	住民意見数		事業所意見数		考え方(対応)			
							現案どおり	今後検討	対応困難	その他
地域振興	23	地域振興	10		2		○			
道の駅	24	活用	10		-		○			
合計			20		2		-	2	-	-

4 その他の意見（浜坂道路Ⅱ期に直接関連しない意見）

項目	番号	意見内容	住民意見数	事業所意見数	
直接関係しない意見	-	(国道9号の改良に関する意見など)	19	5	

提出された意見等の概要とこれに対する考え方【住民意見】

資料 2-3

1. 浜坂道路Ⅱ期ルート帯案に関する意見

項目	意見等の概要		件数	県の考え方
ルート帯	1 計画ルートで良い	① 地質地形の問題等を検討された結果のルートだと思う。	18	【現案どおり】 提示したルート帯にて計画を進めます。
		② 道路Ⅱ期ルート提案のとおりが最良と思える。		
		③ 最短ルートで問題ない。		
		④ 積雪・災害に強い提案のトンネル構想ルートが良い。		
2 直線ルート希望	① できるだけカーブの少ない安全な道路を求めます。	7	【現案どおり】 集落・学校・神社・墓地等の回避を前提としており、速達性を確保するため、延長が短くなる直線的なルートとしています。	
	② なるべく直線的なルートとして、経費負担を安くする。			
3 別ルート意見	① 奥町は目に見えて空家が多いですし、京屋は行き止り。これを何とか通じる道、つまり通り抜けがほしい。奥町と宝木の間を通るとか何とかならないものか。	7	【対応困難】 ルート帯の計画においては、以下の点に配慮しています。 ①できる限り延長を短くする。 ②土地改変をできるだけ低減する。 ③JR山陰本線との交差は、建設時期が古いJRトンネル区間を避ける。 トンネルの設計においては、以下の点に配慮しています。 ①土被り（トンネルから地表面までの土砂や岩盤の厚さ）を大きくする。 ②短いトンネルの連続を極力さける。 ルートを南側とした場合には以下の問題が生じます。 ①JR山陰本線との交差可能位置も釜屋トンネルと居組トンネル間は約70mしかなく、JRトンネルへの影響が避けられない計画となる。 ルートを北側とした場合には以下の問題が生じます。 ①ルートが山裾部分を通り、トンネルの土被り不足となり、大規模な切土区間となる箇所が発生する。 ②短い区間でトンネルと明り部が混在し、冬期路面変化や明るさ変化が生じるため経済性のみならず走行安全性にも問題が生じる。 これらの条件を勘案し、提示したルート帯で進めたいと考えています。	
	② 原案だと諸寄と奥町とが分断される。そこでJRトンネル(釜屋・居組トンネル)の間を交叉できないか。奥町の南を通す。			
	③ 戸田～浜坂西小学校の区間はもう少し北側のルートはだめでしょうか。			
	④ 出来れば三谷集落、浜坂中学校あたり東側を少し北側にならないか。すると道が真っ直ぐに近くなる。			
4 景色に配慮	① 海の見ることのできる場所を通るルートを希望する。	4	【対応困難】 ・計画範囲で海岸の風景を望むルートは、諸寄地区より西側に想定されますが、国道178号近くで海岸沿いとなり集落への影響が生じ、穴見崩壊地にも近接することとなる。 ・強風・積雪・凍結への対応、国立公園内の地形改変等の問題点も多くなり、対応困難と考えます。 ・大規模な切土にすると掘削土量が非常に大きくなり、工事費が割高となります。	
	② 香住以西、山陰海岸を望むルートは皆無であり、その願いは有りますが、地形上不可能とは思いますが。			
	③ トンネルばかりにしないでほしい。出来るだけ空が見える、山が見える、海が見える、そうでないと道を通っていても息がつかない。			
	④ 町が見えてほしいと思っています。町のど真ん中を走ってほしい。それは難しいので山裾を走るルートでも良いですが（その方がトンネルより安価に出来る）、何とかルートを考えてほしい。			

項目	意見等の概要		件数	県の考え方
インターチェンジ(IC)	5 居組IC	<p>① 居組のICへの取り合い道路「178号線からの侵入路等」については特別の配慮を願う。 浜坂地区・諸寄地区への利便性を高める事が必要。</p> <p>② 居組インターチェンジをどこでもいけるフルインターチェンジにして欲しい。</p> <p>③ 居組は七坂という大きな峠があり、新しい道路を利用することは大変うれしいことですが、上り下りの出来るようお願いしたいと思います。</p>	8	<p>【現案どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の居組ICは鳥取行きハーフランプ構造ですが、県内最北西端である居組地区と県内との連携を確保するため、豊岡行きを加えたフルランプ構造に改築したいと考えています。
	6 中間IC不要	<p>① 諸寄ICの件も栃谷から居組までの距離が短く、途中にICを設けるのは危険。</p> <p>② 諸寄ICができれば、と思っておりましたが、構造的に難しければしかたないです。</p>	4	<p>【現案どおり】</p> <p>提示したルート帯にて計画を進めます。</p>
	7 中間IC必要	<p>① 諸寄ICが出来なければ諸寄の住人にとって道路を作るメリットが全くない。</p> <p>② 他の町からも人が来る事、通る事、今の道を何とか奥の方を通して(少しでも奥町付近)インターでも出来ないでしょうか。</p> <p>③ 鳥取方面のハーフランプICを諸寄地区に設置希望。</p> <p>④ 諸寄集落、釜屋、奥町、各集落への(又はからの)出入り口はなんとかできないものか。トンネルでの合流、分岐はキケンでもあるがなんとかならないか。</p>	10	<p>【対応困難】</p> <ul style="list-style-type: none"> ルート帯案では、諸寄地区でJR山陰本線の上空を高い位置で通る計画となります。ランプは縦断勾配6%以下が基準のため、400mを超える斜路長が必要となります。 谷幅が狭くICを設置する延長が不足しています。ランプの本線接合部には変速車線長として、加速側210m、減速側160mが必要となります。合流や分流部をトンネル内に設置せざるを得ず、安全性に大きな問題が生じます。 ルート帯案以外の箇所へのIC設置は、谷幅が狭いなど地形条件から、さらに困難と考えています。

2.浜坂道路Ⅱ期事業に関する意見

項目	意見等の概要	件数	県の考え方
計画	<p>8 事業必要</p> <p>① 速く移動できる必要性高い。</p> <p>② 豊岡及び鳥取への救急医療への道が開ける。災害並びに果急事態に大変な効果ありと思う。</p> <p>③ 『山陰近畿自動車道』の早期完成こそが地方創生につながると思います。</p> <p>④ この道路が完成したらどんなに便利になるか、又経済的にも効果は大きい</p> <p>⑤ 浜坂インターに鳥取方面へ出るのに便利になると思います。長距トラックほかの自動車も便利になると思います。</p> <p>⑥ 観光道路である必要性はないと思います。救急医療面、災害時のルート確保、そして最も重要な、速く移動できることで、鳥取が通勤範囲となることが目的。</p>	20	<p>【現案どおり】</p> <p>山陰近畿自動車道は、日本海側の高規格幹線道路網の空白地を解消し、日本海国土軸を形成する重要な路線です。</p> <p>浜坂道路Ⅱ期は、主に次の目的のため、整備を進めます。</p> <p>① 3次医療施設（公立豊岡病院、鳥取県立中央病院）への搬送時間の短縮</p> <p>② 大規模災害時の緊急支援物資の輸送ルートの確保</p> <p>③ 広域観光交流圏の拡充・強化</p>
	<p>9 事業不要</p> <p>① 浜坂の海岸沿いで西行き路線が開通しても、おそらく居組までは今の国道を利用すると思う。</p> <p>② 医療も買物も鳥取でということになり、今からでも計画を中止すべきです。</p>	6	
10 事業期間	<p>① 早急に着工して、早急に完成するべき</p> <p>② 地元の反対で工期が延びることのないよう、お願いします。</p> <p>③ 工事着工が早まり浦富～東浜の完成と同じになるように期待をします。</p> <p>④ 早く鳥取～豊岡～宮津と連なる事を願います。</p>	50	<p>【今後検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜坂道路Ⅱ期については、平成29年度完成予定の浜坂道路事業に引き続き、平成30年度からの事業化を目指しています。 ・ 事業着手後も、早期完成に向けて事業を推進していきます。
11 事業コスト	<p>① 工期が短い程経費は下がる。</p> <p>② 用地買収費を含めた工事費全体が出来るだけ安価でさらに道路完成後の維持管理もできるだけ安価で済むようにして頂きたい</p>	3	<p>【今後検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画、設計、工事の各段階において、完成後の維持管理費も含めたコスト削減に取り組んでいきます。
12 環境対策	<p>① 山が減っていくのが自然破壊に感じる。自然を守ることも考えながら進めてほしい。</p>	2	<p>【今後検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境の改変をできる限り抑える計画や工法の検討を行います。 ・ 環境調査を実施し、必要な対策を講じながら事業を進めます。
13 情報公開	<p>① 段階ごとに進捗状況の報告や現地見学会、住民への意見募集など、住民が参加できるようなご配慮をお願いします。</p> <p>② 今後の説明会及び施工計画及び今後の施工計画タイムスケジュールを広報等に掲載して頂きたい。</p> <p>③ いろいろなデータを公開することによって、良い面、悪い面を理解し、その道路の利用を促進できるようになるといい。土木の責務として、調査したデータの公表決定する事項に至った判断基準、方法を住民にかくさず公表すべきである。</p>	10	<p>【今後検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業を推進するにあたり、事業着手前や工事施工中などの適切な時期に、事業計画や工事進捗等の説明会を開催し、地域の方々への積極的な情報提供に努めていきます。事業が採択された後に、地域住民の方々に対し、順次説明会を開催する予定です。 ・ 各種データはできるだけ、ホームページ等で公表します。

項目	意見等の概要		件数	県の考え方	
設計	14 安全対策	① 浜坂ICに関して、冬季凍結を考慮し、勾配に十分な配慮をお願いしたい。	17	【今後検討】 道路構造等について、適切な安全対策に取り組めます。 ・ 消雪対策、雪・風対策は、今後の設計段階で検討を行います。 ・ 道路上の橋梁には、必要な箇所に落下物防止柵の設置を計画します。 ・ 事故対応は、事前検証して、管理マニュアルに取りまとめます。	
		② 橋梁区間について、冬期間両サイド山に囲まれている場所は雪による吹き溜りが予想されます。この件について検討をお願いします。			
		③ 冬季の消雪対応について考慮いただければ有り難いです。			
		④ 橋梁区間においては工事終了後に消雪工事をするのではなく同時進行の工事にしてもらいたい。			
		⑤ 諸寄地区のJR高架橋に防風対策を十二分をお願いします。			
		⑥ 橋梁は道路からの物の落下などないような措置が必要だと思う。			
		⑦ トンネル区間が長いことから事故等が発生した場合どのように避難するのか検討しておくべき。			
		⑧ 時短については緊急時も有意義ではあるが反面リスク管理も致密なものであってほしい。			
15	トンネル	構造	4	【今後検討】 計画、設計段階において、安全なトンネル構造となるよう検討を行います。 ・ トンネル内の縦断勾配は、原則として3%以下であり、明り部の縦断勾配も急勾配とはならないよう、全体の縦断設計を行います。 ・ トンネル同士の近接施工は、必要な離隔を確保する計画とします。 ・ トンネル内は、コンクリート舗装を計画しており、10m間隔に目地が必要です。走行しやすい目地となるような設計とします。 ・ トンネル内の記号やラインは、現段階では計画していません。	
					① 穴見崩壊地は地下40～50mとなるのか少し深すぎるが、居組への合流は相当な坂になるのか。キケンをさけるようをお願いしたい。
					② 穴見崩壊地自動車トンネルも心配。新トンネルをできるだけ離す。
					③ 東浜居組のトンネル道路面の様に走行中にガタガタ（道路のつなぎ面）にならないようにする。
	④ トンネル内に「文字でもなく」「絵的なデザイン」でもなく「O、△、×、ラインなど」の様なワンポイントを「連続」又は「一定の間隔」壁面のどこかに表示することができないでしょうか？（とにかく道路走行の安全が一番です。）				
	照明	2	【今後検討】 トンネル設計基準に基づいた照度を確保します。（LED照明の採用を予定しています。）		
					⑤ 明るいトンネルにして頂きたいです。暗いと圧迫感が増す。
ラジオ放送等	5	【今後検討】 ・ ラジオ再放送設備は、トンネル延長と交通量による設置基準が定められています。 ・ トンネル等級により、設置するトンネルを決めることとなっています。浜坂道路Ⅱ期では、今後の設計段階でラジオ再放送設備の検討を行います。 ・ 携帯電話は全線で繋がる予定です。テレビの受信には対応しません。			
			⑥ トンネル内でテレビ・ラジオが受信できるよう配慮して欲しい。		
		⑦ トンネルが多いルートになるようですが、FM、携帯の電波についても配慮をお願いしたいです。			

項目	意見等の概要	件数	県の考え方
設計	16 展望・休憩施設	13	【対応困難】 ・ルート帯の計画においては、トンネル構造を中心としており、サービスエリアや展望施設等の設置は困難と考えています。 （海が一望できる箇所は、ほとんどないのが現状です。） ・栃谷に整備する道の駅を「まちの拠点」と位置付けており、浜坂ICからの立寄りをいかに多くするかを考えていきます。
	① SA or PAが設置できるよう考えてほしい。 鳥取から自動車道内にトイレ休憩施設がないから。		
	② 少し休んで停めれる道路幅を必ず作って欲しい。		
	③ 海岸線の美しさ、夕陽の美しさなどアピール出来る展望台と喫茶コーナーなど立ち寄る場所の設置をし、鳥取への直行にならないよう工夫できないか。		
	④ 展望台は是非つくってほしい。居組あたりに出来るのではないか。休憩所があってよいと思う。		
	⑤ 浜坂上う山付近に日本海が一望できる駐車場・展望台を考えて。		
	⑥ 諸寄～奥諸寄の谷を横断する高架に「空の駅」のような工夫。		
	⑦ IC下車タイプの道の駅ではなく、浜坂－居組間ルートにおいて最も景観の良い場所にパーキング、サービスエリア的な道の駅の導入が、ジオパーク道路の意味も含めてぜひ必要と考えます。		
	17 追い越し車線	5	【対応困難】 ・追い越し車線設置に必要な盛土部延長（約1 km）が確保出来ないため、設置が困難であると考えています。 ・トンネル内の付加車線（ゆずり車線）は、工事費が高くなることに加え、事故発生の危険性も高くなるため、設置しないこととしています。
① 追い越し車線をつくるか、現在出来なくても将来出来ることを考えたルート、用地確保を希望します。			
② 栃谷～居組間で追越が出来るように一部二車線化にして頂きたい。			
	③ 浜坂IC（仮称）付近を使った追い越し車線を検討出来ないものか？		
	18 道の駅へのアクセス	6	【対応困難】 ・浜坂IC(仮)付近は、県道西側の平地の延長が短いこと、ランプからの分岐ルートが原則認められないため、直接進入するルートの設置は困難と考えています。
設計	19 浜坂IC（周辺）	6	【今後検討】 浜坂IC(仮)の西側区間の計画、設計段階において、検討します。 ・橋梁延長・尾根筋横断は、西行きランプの計画で検討します。 ・両側側道の設置は、現況を確認し検討します。 ・遮音壁の設置は、騒音値が環境基準を超える場合に限定されます。
	① 浜坂IC（仮）より西について、盛土から橋梁にするべき。		
	② 浜坂ICからの西道、北に延びる小さい尾根を横断していきます。尾根筋を切断し切り通しにすると集落から山の路も途切れます。尾根の横断部分はトンネル化し、尾根筋の現状維持確保をお願い致します。		
	③ 県道をまたぐ橋梁は、橋脚間を最大限広くとって、閉塞感が出ないような構造になるよう配慮をお願いしたい。		
	④ 本線の南北は圃場があるため、双方に側道を付けてもらいたい。		
	⑤ 本線北側は、住宅地があり遮音壁の設置も必要かと思う。		
	20 その他		【その他】 現段階では、浜坂道路とⅡ期のための、除雪基地利用を計画しています。
	① 浜坂IC（仮称）県道東側は広大な残地が出るように思うが、何か用途は考えているのか。		

項目	意見等の概要		件数	県の考え方
工 事 実 施	21 工事中の 安全対策	① 浜坂道路Ⅱ期工事期間中は、諸寄地区内にある国道178号線と 県道岸田諸寄線の工事車両の通行には十分な安全運転を お願いしたい。 県道岸田諸寄線は、浜坂西小学校の通学路になっているので、 特に登下校時には工事車両内の通行には万全を期して いただきたい。	7	【今後検討】 ・事業計画や工事実施段階において、通学路の交通確保や工事用車両通行についての 安全対策を検討し、工事計画への反映に努めます。 ・工事実施時には浜坂道路事業と同様に、安全対策協議会を設置し、学校や地域との 情報共有、安全・環境対策の確保に努めます。 ・工事用車両や土砂運搬トラックの通行時の安全対策、交通誘導員の配置についても、 事前に説明を行うとともに、実効性のある対策となるよう努めます。
	② 土砂を運ぶトラック等の交通整理とかはきちんとされる のでしょうか。事故が無いようお願いします。	③ 事故の無いように進めて行って欲しいです。安全が第一です。		
	22 工事中の 環境対策	① 大栃川について汚水等の対策をお願いします。 また工事に伴い発生する土砂が港湾に堆積・流失しないような 計画をお願いします。		
② トンネルが多いと聞きましたが、土砂はどうされるのでしょうか。	③ 工事現場と海が近いので泥水が流れると諸寄湾などが汚れることが 考えられます。対策をとって下さい。			

3.その他の意見（地域活性化に関する意見）

項目	意見等の概要	件数	町の考え方
地域振興	<p>23 地域振興</p> <p>① 但馬地域にとっては鳥取への通過道路となります。但馬地域に活力（どんな）をもたらすと考えておられますか？</p> <p>② 観光客に立ち寄ってもらうためには、地域自身が魅力を高めることが第一ではありますが、立ち寄りやすい仕組みを何か道路側にも作っていただければと思います。</p> <p>③ 浜坂道路が真に新温泉町にとって、いいものという内容の道路になるように、望んでいる。道路が出来る事によって新温泉町が衰退していくようではだめだ。</p> <p>④ 観光産業商業文教医療等、総合的にアイデアをつのり、立派な道路にしてもらい地区発展に寄与してもらいたい。</p> <p>⑤ II期ルートが完成するまで、R178の居組～浜坂間の海岸線は景観がすぐれ、ジオパークの道路として期間限定で広告、アピールしてはどうか。</p>	10	<p>【今後検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜坂II期の完成により、近隣市町とのネットワークが強化され、地域・観光資源の広域的活用が期待されます。 ・住民生活は、豊岡と鳥取の両方面への移動時間の短縮により、医療機関への救急搬送や通院・通学、買物などの利便性の向上、選択肢の多様化が期待されます。 ・観光面では、交通アクセス向上による、新たな観光ルートの開拓、観光客の増加が見込まれるため、観光資源のさらなる整備を進める必要があります。現国道178号を観光道路に活用し、山陰海岸ジオパークの見どころをアピールするため、施設整備や方策を検討していきたいと考えています。 ・地域の情報発信は、浜坂IC直近に整備する「道の駅」を活用することとしており、道の駅を起点とした人の流れを確立させ、地域の発展につなげていきたいと考えています。 <p>浜坂道路・浜坂II期と現国道178号等の道路ネットワークをうまく機能させて、地域の賑わいにつながるような「仕組みづくり」などを、地域の皆様と検討していきたいと考えています。</p> <p>【今後検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜坂道路供用後～浜坂II期完成までの期間、浜坂～居組の現国道178号には、これまで以上に多くの車両が通行することが見込まれます。現在も、要所に山陰海岸ジオパークの案内看板を設置していますが、さらに地域の魅力を発信できる「観光スポット整備」や方策を検討し、観光客の立ち寄りを誘導していきたいと考えています。

項目	意見等の概要		件数	町の考え方
道の駅	24 活用	<p>① 道の駅の有効活用により、新温泉町の活性化を強く期待します。</p> <p>② 浜坂の道の駅に温泉があったら人の集まりも良くなるのでは。</p> <p>③ 『道の駅』など整備し、ジオパークエリアにふさわしい中心地的な観光地としてリフレッシュの出来る魅力的な区間をアピール出来る施設を望む。</p> <p>④ 道の駅をぜひ作ってください。三谷、保健所の上あたりに新鮮な野菜又加工品、海産物又加工品等四季にあった商品を展示してください。他の地区から高速使って買いに来るようになると思います。</p> <p>⑤ 日本海が展望できる道の駅を作ってほしい。</p> <p>⑥ 浜坂IC道の駅につきましては完成後の管理運営委託先は早急に確信の持てる団体等のご検討を町と共に進めて下さい。</p>	10	<p>【今後検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅は、新温泉町の海・山・温泉などの魅力的な情報を発信し、多くの人々が集まる新しい町の拠点施設としての整備を進めています。 道の駅の位置は、浜坂道路、浜坂Ⅱ期、湯村方面、山陰海岸方面の結束点となる浜坂IC直近の主要地方道浜坂井土線に設置することにしました。 高規格道路で遠方から訪れた人々が立ち寄りやすいIC直近の位置を選び、休憩や食事と共に、地域情報を収集した後に一般道を使って新温泉町の観光を楽しんでもらえるよう計画しています。 高規格道路にPA等を整備した場合、通行者の利用には便利となるが、地域への立ち寄りには少なくなり、地域振興の観点では問題が多いと考えています。 <p>【今後検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成後の運営については、前述のような目的に即し、より高い設置効果を得られる指定管理者を選定していきます。

提出された意見等の概要とこれに対する考え方【事業所意見】

1.浜坂道路Ⅱ期ルート帯案に関する意見

項目	意見等の概要		件数	県の考え方
ルート帯	1 計画ルートで良い	① 大変良い計画だと思います。	1	【現案どおり】 住民意見への回答と同じ。
	4 景色に配慮	① ジオパークの海岸美を味わってほしい。	3	【対応困難】 住民意見への回答と同じ。
		② トンネルを短くして海が望める様に景観を考えた事に成ればと思います。		
③ トンネルを極力少なくする。				

2.浜坂道路Ⅱ期事業に関する意見

項目	意見等の概要		件数	県の考え方	
計画	8 事業必要	① 大変良い計画だと思います。	3	【現案どおり】 住民意見への回答と同じ。	
		② 観光面で考えると豊岡香住方面へのアクセスと鳥取方面へのアクセスがより早く移動出来るため、選択肢は広がると思います。			
		③ 工事推進に理解を深め、協力する旨をこの書面で表します。			
	10 事業期間	① 早く実行していただきたいと思います。	3	【今後検討】 住民意見への回答と同じ。	
		② 早期の実現に向けて努めて下さい。			
		③ 早期の工事着手と供用開始を要請致します。			
	12 環境対策	① 環境に配慮すべきです。	1	【今後検討】 住民意見への回答と同じ。	
設計	14 安全対策		1	【今後検討】 住民意見への回答と同じ。	
	15	構造	① トンネル入口に表示パネルをつけるとか、トンネル内の側壁を絵入りで紹介すればイメージが変わっておもしろく、トンネルの続くイメージをなくすることができるのではないのでしょうか。	1	2 【今後検討】 住民意見への回答と同じ。
		ラジオ放送等	② トンネル内でラジオが聞ける様にする	1	
	17 追い越し車線		1	【対応困難】 住民意見への回答と同じ。	

3.その他の意見（地域活性化に関する意見）

項目	意見等の概要		件数	町の考え方
地域振興	23 地域振興	① 浜坂IC(仮)、居組IC付近の整備が必要だと思います。 浜坂ICは道の駅と田君川のバイカモなど。 居組ICは海岸景観などの整備とPRが必要だと思います。	2	【今後検討】 住民意見への回答と同じ。
		② ジオパークとの関係を活かす。		

浜坂道路Ⅱ期の事業化に向けたスケジュール

1 浜坂道路Ⅱ期ルート案の検討

「ルート帯」からさらに詳細な検討を進め、実際の道路幅での「ルート案」を決めていきます。

2 現地地形測量の実施

上記ルート案の検討を行うにあたり、詳細な図面が必要であるため、ルート帯の範囲において地形測量を実施します。

各区長に相談の上、事前の説明が必要な地区には、H29年1月より順次、地元説明に伺い、その後、現地測量作業に着手する予定です。

3 事業化に向けての協議等

ルート案を決めた後、H29年度は国と浜坂道路Ⅱ期事業化についての協議を進めます。

また、公共事業等審査会において、浜坂道路Ⅱ期事業の必要性や効果等を外部の委員に評価していただきます。

4 事業着手

浜坂道路Ⅱ期は平成30年度の事業化を目標としています。

事業化後には、道路や橋梁、トンネルの詳細な設計や用地測量等を行い、早期の工事着手を目指します。